



14歳以下女子は、白山(明徳義塾中・高)と赤江(興徳高二中)が対戦。打点の早いバックハンドのラリーが展開されるなど、質の高いゲーム内容であったが、バックハンド強打が得意な白山が一歩上り優勝者となった。ベスト4には、東川(興徳高二中)、櫻井(早稲田大高)が入った。

白山の強打が、バックハンド強打が得意な白山が一歩上り優勝者となった。

痛打して威力あるバックハンドドライブを繰り出す



白山の強打が、痛打して威力あるバックハンドドライブを繰り出す

白山 白川 悠希 (明徳義塾中一年級)



13歳以下女子は、小池(JOCエリートアカデミー)と藤本(本下グループ)が対戦。小池の切れとカットに對して、藤本が丁寧なドライブでラリーに持ち込むが、最後は小池がカットに反応をつけ、藤本のミスを取り返した。ベスト4には、カットの天才(札幌大谷中)、元持の鋭いプレーを見せた藤原(浪山平球倶楽部)が入った。

小池の切れとカットに對して、藤本が丁寧なドライブでラリーに持ち込むが、最後は小池がカットに反応をつけ、藤本のミスを取り返した。

切れの鋭かったカットに加え、今大会はミスも少なくスイングした



小池 小池 悠希 (JOCエリートアカデミー)



小池の切れとカットに對して、藤本が丁寧なドライブでラリーに持ち込むが、最後は小池がカットに反応をつけ、藤本のミスを取り返した。

切れの鋭かったカットに加え、今大会はミスも少なくスイングした

切れの鋭かったカットに加え、今大会はミスも少なくスイングした



14歳以下男子は、前田(松山TTC)と吉山(TC中国)が決勝で対戦。同受領らず展開となり、最終ゲームは吉山が首位に試合を進めるが、自身のプレーを最後まで信じた前田が逆転、優勝した。3位は、鈴木、田原(以上、東工大高)だった。

前田の鋭いバックハンド強打が、試合を進めるが、自身のプレーを最後まで信じた前田が逆転、優勝した。

最終ゲームで逆転の劇的な展開が、バックハンドでの強打も見せた



前田が、ベンホルダーとして、22年ぶりのV

前田 前田 悠希 (松山TTC)



13歳以下男子は、松原(松山TTC)と藤本(本下グループ)が対戦。松原の鋭いバックハンド強打が、藤本から奪取する同ハンド強打が威力があった。ベスト4には、藤原(東工大高)も、本方(明徳義塾中)が入った。

多彩なテクニクの松原が優勝

松原 松原 悠希 (松山TTC)



13歳以下男子は、松原の鋭いバックハンド強打が、藤本から奪取する同ハンド強打が威力があった。



松原の鋭いバックハンド強打が、藤本から奪取する同ハンド強打が威力があった。

松原の鋭いバックハンド強打が、藤本から奪取する同ハンド強打が威力があった。

松原の鋭いバックハンド強打が、藤本から奪取する同ハンド強打が威力があった。